

## 特別活動（学校行事） 「HANDSIGN 学校公演企画」

平塚市立大原小学校



### 単元（題材）目標

- 手話を取り入れたパフォーマンスを体感しながら、「耳が聞こえないことも一つの個性だ。」という考え方に触れる。
- 手話ダンスを通して、身体を動かすことの楽しさを味わう。

(1) 実施時期 11月29日（水）5校時（13時30分～14時30分）

(2) 対象（学年等・人数） 全校児童 245名 保護者 13名 教職員

(3) 指導者（教諭・外部講師等） HANDSIGNさん 5名

### (4) 実施内容

- ① HANDSIGN紹介
- ② プロモーションビデオ（紹介）  
手話ダンス（HANDSIGNによる手話とダンスを見る）  
寸劇を通じて手話を学ぶ。  
プロモーションビデオ（僕が君の耳になる）  
手話ダンス（手話を教えてもらいながら、一緒に踊る）  
手話ダンス（曲の途中で音を遮断するがダンスと手話は続け、耳の聞こえない人はどのような状態かを体験し、気持ちを思いやる。）

### (5) 成果

- 手話を学びたいという気持ちを育てることができた。
- 手話を学ぶことで将来耳が聞こえない人の役に立ちたいという気持ちを育てることができた。

### (6) その他（感想）

- 手話の体験や一緒に踊ったりするところがあってとても楽しかった。私はとくに「僕が君の耳になる」が良かったです。この歌の手話を覚えて歌えるようになりたいです。
- 私の将来の夢は図書館司書になりたいので、耳が聞こえない人が来たときに手話が必要になると思うので勉強になりました。
- 映像を見て、耳が聞こえる人と聞こえない人のとてもいいお話があったので「こんなこともあるのだな。」と思いました。私の夢はアザラシの飼育員なので、もし手話ができたらいいなと思いました。
- ハンドサインの人たちは面白いところもあって、優しい気持ちもあって、すごく好きになりました。歌も良くて一回見ただけでファンになりました。手話をやりながら歌やダンスをすると耳が聞こえなくても伝わるのでいいと思いました。
- 手話の必要性は以前から感じていましたが、なかなか覚えようとまではいきませんでした。歌でもダンスでも手話が活かされることは今回の公演で知り、広がるように思います。不自由な人たちと共生していく上で、福祉への思いがますます広がっていくことが、みんなの幸せにもなりますね。ありがとうございました。（教職員）
- このような形で福祉を身近に感じることはとても貴重だと思いました。今回の公演をきっかけにして手話に興味をもつことや、困っている人を助けようとする気持ちが育つと思います。（教職員）